

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【公表番号】特表 2004-513006 (P2004-513006A)  
 【公表日】平成 16 年 4 月 30 日 (2004.4.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-017  
 【出願番号】特願 2002-539162 (P2002-539162)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 J 7/12

B 6 0 J 7/20

【F I】

B 6 0 J 7/12 G

B 6 0 J 7/20

【手続補正書】  
 【提出日】平成 15 年 7 月 9 日 (2003.7.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

少なくとも後部ルーフ部材と同後部部材の前部に設けられた第 1 の部材とからなり、これら 2 つの部材はそれらが車室を覆う位置、及びそれらが車両の後部荷物室内にほぼ水平に重ね合わされる位置の間を可動である車両用格納式ルーフにおいて、前記後部部材の前記荷物室を指向した移動は前記車両のシャーシ及び前記後部部材に接続された少なくとも 1 つのアームによって制御されることと、前記後部部材は同後部部材及び前記第 1 の部材に接続された 2 つのレバーによって同第 1 の部材に連結され、これら 2 つのレバーは変形自在な四辺形を画定することと、前記アームは前記後部部材及び第 1 の部材を連結する 2 つのレバーのうちの一方と同アーム及び同レバーに接続された連結ロッドによって関節を有した方式にて連結されることと、前記後部部材の前記荷物室を指向した移動は前記後部部材の後部に担持され前記荷物室内に延伸する溝内にて摺動可能に係合されたフィンガーによって制御されていることとからなる、車両用格納式ルーフ。

【請求項 2】

前記ルーフは前記第 1 のルーフ部材の前部に設けられた第 2 のルーフ部材をさらに有し、前記第 1 の部材は同第 1 の部材及び前記第 2 の部材に接続されたさらなる 2 つのレバーによって同第 2 の部材に連結され、これら 2 つのレバーは変形自在な四辺形を画定し、及び、前記アームには連結されず、かつ前記後部部材及び前記第 1 の部材を連結するレバーは前記第 1 の部材及び前記第 2 の部材を連結するレバーのうちの一方に前記レバーに接続された連結ロッドによって連結されている、請求項 1 に記載の車両用格納式ルーフ。

【請求項 3】

前記後部部材の前記荷物室を指向した移動は、前記シャーシ及び前記後部部材の一部と接続された第 2 のアームによってさらに制御される請求項 1 又は 2 に記載の格納式ルーフ。